

市職員の 給与を公表



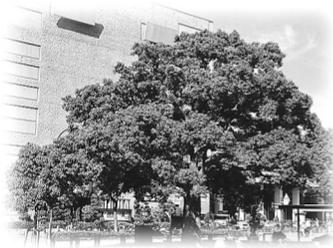
初任給など 一般行政職の学歴別初任給と、採用後2年経過した日の給料月額を、それぞれ国と比較したのが表(6)です。一般行政職の10・15・20年目の平均給料月額の状況は表(7)のとおりです。

(6) 一般行政職の初任給の状況 (平成19年4月1日現在)

区分	西宮市		国	
	初任給	採用2年経過日の給料月額	初任給	採用2年経過日の給料月額
大学卒	17万5714円	19万2157円	17万9200円	19万8000円
高校卒	14万9352円	16万1602円	13万8400円	14万8000円

(7) 一般行政職の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (平成19年4月1日現在)

区分	経験年数	大学卒	高校卒
		10年	26万4807円
	15年	31万9779円	27万7498円
	20年	37万9728円	33万720円



職員手当 職員手当には、地域手当(地域における民間の賃金水準、物価などを考慮して支払われる)のほか、期末・勤勉・退職・管理職などの手当があり、その状況は表(8)から(13)のとおりです。

(8) 期末手当・勤勉手当(普通会計)

区分	西宮市		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
平成18年度1人あたり平均支給額	194万円		未公表	
平成18年度支給割合	3.44975月分 (1.822月分)	1.00025月分 (0.528月分)	3.0月分 (1.6月分)	1.45月分 (0.75月分)
加算措置の状況	役職加算が5%~20%		役職加算が5%~20% 管理職加算が10%~25%	

*カッコ内は、再任用職員にかかる支給割合

(9) 退職手当(普通会計) (平成19年4月1日現在)

区分	西宮市		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	21.00月分	28.0875月分	21.00月分	27.30月分
25年	33.75月分	43.3350月分	33.75月分	42.12月分
35年	47.50月分	60.9900月分	47.50月分	59.28月分
最高限度額	60.00月分	60.9900月分	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置として、退職時給料(俸給)月額の2%~20%を加算			
1人あたり平均支給額	自己都合 定年 その他(死亡、勤奨) 2715万5000円	416万円 3103万6000円	未公表	

*1人あたり平均支給額は、平成18年度に退職した全職種にかかる職員に支給された平均額

(10) 地域手当(普通会計) (平成19年4月1日現在)

支給対象	支給率	対象職員数	支給実績	平均支給年額	国の制度
市内全域	10%	2991人	13億6416万6000円 (平成18年度決算)	45万6000円 (平成18年度決算)	12%

(11) 時間外勤務手当(普通会計)

区分	支給実績	支給職員1人あたり平均支給年額
平成18年度決算	7億819万2000円	33万7000円
平成17年度決算	7億9569万4000円	37万3000円

(12) 特殊勤務手当(普通会計) (平成19年4月1日現在)

区分	支給実績	支給職員1人あたり平均支給年額	職員全体に占める手当支給職員の割合	手当の種類
全職種	1億3562万8000円 (平成18年度決算)	13万円 (平成18年度決算)	34.94% (平成18年度)	じんかい処理作業従事手当など27種類

*特殊勤務手当については、平成18年度から大幅な見直しを行い、65項目中44項目を廃止し(一部廃止、統合を含む)、20項目について減額しました

市職員の給与などの状況について広く市民の皆さんに知ってもらおうと、そのあらましをお知らせします。
問合せは職員課(0798・35・3502)へ。

給与など 職員の給与は、毎月の給料のほか、扶養・通勤などの諸手当からなっており、生計費、国や他の地方公共団体の職員の給与、民間企業の従事者などの給与との均衡を考慮して定められます。

人件費など 人件費には、職員の給与のほか、退職金、災害補償費、特別職に支払われる給料や報酬などが含まれます。平成18年度の人件費と19年度の職員給与費の状況は表(1)・(2)のとおりです。

(1) 人件費の状況(普通会計決算) (平成18年度)

住民基本台帳人口 平成19年3月31日現在	歳出額 <A>	実質収支	人件費 	人件費率 /<A>	平成17年度 人件費率
46万2044人	1440億8020万円	30億7348万円	348億589万円	24.16%	24.83%

(2) 職員給与費の状況(普通会計予算) (平成19年度)

職員数 <A>	給与費				1人あたり給与費 /<A>
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
2950人	127億6387万円	46億3180万円	59億3133万円	233億2702万円	790万7000円

*職員手当には、退職手当を含まない

*給与費は当初予算に計上された額である

行財政改善実施計画による給料などの減額

平成17年度から20年度まで(議員は平成19年5月31日まで)の間、厳しい財政状況などを考慮して、特別職・一般職の給料などを(3)の①、②のとおり減額しています。

(3) 給料等の減額状況

①一般職

区分	減額率
給料	2%~8%
住居手当	5%
管理職員特別勤務手当	10%

②特別職

区分	減額率	
常勤特別職	市長	20%
	副市長	15%
	その他	10%
議員	5%	

平均給料月額など

職員の給料月額は、職種によって分かれる給料表で決まっています。給料表には、行政職、医療職(3種類)、消防職、教育職(2種類)の7種類があり、職務内容と責任の度合いに応じて級に分かれ、各級はおおむね80から120までの号給からなっています。一番多い職種の一般行政職(1298人)と技能労務職(693人)は、全職員の55%を占め、行政職給料表が適用されます。その平均給料月額などは表(4)のとおりで、一般行政職の級別職員数は表(5)のとおりです。

一般行政職の給与水準を、国が100として比較するラスパイレス指数(市の職員構成を国と同じと仮定して計算)で見ると、今年4月1日現在で、100.6(昨年は98.7)で、パーシェ指数(国の職員構成を市と同じと仮定して計算)では101.2(昨年は99.4)です。

(4) 職員の平均年齢、平均給料月額、平均給与月額の状況 (平成19年4月1日現在)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
西宮市	43.1歳	35万3130円	43万3006円	44.3歳	34万8195円	41万7997円
国	40.7歳	32万5724円	38万3541円	48.8歳	28万7094円	32万514円

*平均給料月額は、平成19年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均

*平均給与月額は、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当などの額を合計したもの

(5) 一般行政職の級別職員数の状況 (平成19年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
標準的な職務内容	主事 技師	主事 技師	主事 技師	係長 主査	課長補佐 係長	課長	部長	局長
職員数	65人	134人	284人	285人	325人	151人	41人	13人
構成比	5.0%	10.3%	21.9%	22.0%	25.0%	11.6%	3.2%	1.0%

*職員数は、「西宮市一般職員の給与に関する条例」にもとづく給料表の級区分による